

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 3 月 1 日

事業所名 コペルプラス八王子教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	定員数を遵守しております。	
	②	職員の配置数は適切である	6	0	配置数が欠けないよう、職員の勤務体制を調整しています。	職員の病欠が重なる場合もあるため、配置定数にプラス1名の配置を検討いたします。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	0	バリアフリーになっています。また、怪我対策として壁の角をアール加工しております。 指導訓練室の扉には、子どもたちにもわかりやすいように、部屋名と同じ動物のイラストを貼っています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	毎日、職員全員で清掃・消毒を行っております。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	0	職員全員が参画しております。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	年1回の事業所評価に加え、事業所独自のアンケートを実施し、定期的にご意見をいただくことで、早急に改善ができるよう努めております。	

	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	事業所内の掲示とホームページに掲載しております。また、行政へも報告しております。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	0	今年度から第三者委員を立てました。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	外部研修・事業所内研修を定期的に行っております。また、八王子市主催の専門研修にも参加しております。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	入室前・6ヵ月毎にアセスメントや保護者様との面談を行い、個別支援計画を作成しております。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	お子さまの成長を捉えながら、どのような支援が必要かを標準化された教材と評価表を用いてアセスメントしております。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0	相談支援を行い、ご要望や新たに必要となった支援を個別支援計画に設定しております。	来年度から、「地域支援」「家族支援」の項目を増やし、関係機関とのさらなる連携や、ご家族様への相談支援を行ってまいります。

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	計画内容に沿った支援ができるよう、課題の内容、教材の提示方法や声掛け等を工夫しております。	
--	---	-----------------------	---	---	---	--

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	職員全員で立案しております。 特に、集団活動の立案は、月1回の全体会議と活動毎の担当会議で立案しております。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	毎回30種類ある課題の中から、お子さまに合わせて提示しています。また、固定化しないよう教材を1か月単位で替えております。	繰り返し行う事でインプットやアウトプットができる課題もありますが、お子さまによっては飽きを感じる場合もあるため、見極めながら提示していきたいと思っております。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6	0	発達年齢や特性に応じて、個別活動と集団活動ができるようにしています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	朝礼を設けて、昨日からの引継ぎ事項や本日の情報共有を行っております。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	終礼を設けて、情報共有や明日への引継ぎ事項を確認しています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	短時間のカンファレンスでも記録をとるようにし、検証・改善につなげています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	6か月毎に保護者様との面談と、職員でモニタリングを行っております。	
関係機	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	児童発達支援管理責任者と担当職	

関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携				員が参加しておりま す。		
	②②	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や 関係機関と連携した支援を行っている	6	0	行っております。	
	②③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害 のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等 の関係機関と連携した支援を行っている	6	0	対象外となります。	
	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害 のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制 を整えている	6	0	対象外となります。	
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚 園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支 援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	必要に応じて連携 を行っております。	
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小 学部)との間で、支援内容等の情報共有と相 互理解を図っている	6	0	必要に応じて連携 を行っております。	
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事 業所、発達障害者支援センター等の専門機関 と連携し、助言や研修を受けている	6	0	連携や研修を受け ております。	
②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、 障害のない子どもと活動する機会がある	0	6		交流ができるような会を開催で きるよう準備しております。	

	②⑨	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・ 子育て会議等へ積極的に参加している	6	0	できるだけ参加して おります。	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ど もの発達の状況や課題について共通理解を持つ ている	6	0	療育活動終了後に 保護者様との振り 返りの時間を作って おります。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレ ーニング等)の支援を行っている	6	0	不定期ではありますが、ペアレントトレ ーニングの講座を開 催しております。	
保 護	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明 を行っている	6	0	ご契約時に説明し ております。	

者 へ の 説 明 責 任 等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	支援計画を提示する際に説明をし、同意の署名をいただいております。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	随時行っております。できるだけ保護者様が声をかけやすいよう、複数名の職員が入退室の際にお声掛けしたり、近くにいられるようにしています。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	0	不定期開催のペアレントトレーニング講座の際や、保護者会の場にて、保護者様同士の交流や連携ができるようにしています。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	できる限り対応させていただきます。	職員の病欠があると、体制上、相談の申し入れに迅速に対応できない場合があるため、プラス1名を配置することで、いつでも対応できるよう検討します。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	『教室だより』のホームページ掲載や、イベントのお知らせや空き枠の情報などをSNSで一斉連絡をしております。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	6		個別ファイルや個人情報を含んだ書類は全て鍵付書棚に保管しています。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		絵カードなどを用いています。	

	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6		令和5年11月に地域交流体験会を開催しました。	令和6年も地域交流ができるよう計画しています。
非常時等の対応	④②	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		マニュアルを策定し、定期的に訓練を実施しております。	
	④③	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		行っております。また、備蓄品の消費期限なども確認し、必要に応じて補充・交換をしております。	
	④④	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		面談で聞き取りを行っております。	
	④⑤	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		面談で聞き取りを行い、除去がどの程度必要かを確認しております。	
	④⑥	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		作成し共有しています。また、事業本部への報告を行っております。	
	④⑦	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		年4回以上の虐待防止に関する研修の機会を確保しております。	
	④⑧	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6		契約時に身体拘束に関する説明書を提示しながら説明を行い、ご署名をいただいております。 ※現在、支援計画に身体拘束の項目を記載している対象者様はおりません	身体拘束を行わずとも安全を確保できるよう、人的環境を整えていく方針です。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。